



暑さに強い街 ドレスデン

ドイツ・ドレスデン

要約

ドレスデンの「HeatResilientCity」では、リビング・ラボを利用して、市、専門家、住民が一堂に会し、極端な気温に関連する気候適応の問題をより深く理解し、これらの問題の解決策をコード化している。

課題

ドレスデンのゴルビッツ地区の一部の地域では、気温が周囲の田園地帯の気温より3度から5度以上高いこともある。経済的に恵まれない住民が集中しており、建物の改修が進んでいるにもかかわらず、断熱性の低い建物が多く、極端な気温に弱い。

地球温暖化がもたらす暑さの増加は、その地区に住んでいる人や働いている人の快適性と効率性の両方を低下させる。それは訪問者にとって魅力的でない地域となり、屋外環境の利用を減少させる。長引く暑さは、その暑さに耐えられるように作られていない建物において極度の不快感を与えうる。

そのため、このプロジェクトでは、「問題はどの程度深刻か?」「猛暑が、地域に住み働く人々に与える影響は何か?」「専門家はどのような適応策を提案できるのか、そしてその解決策について地元の人々はどのように感じているのか?」といういくつかの未知の問題に取り組むことにした。

解決策

「HeatResilientCity」を通じ、ドレスデンの住民やその他の関係者を対象とした「リビング・ラボ」が設置された。参加者は問題に対する自分の見解を表明し、協力して解決策の可能性を分析する。

関係者には、建築業界の代表者、都市開発の専門家、科学者、研究者が含まれている。この学際的なグループは、住民とともに、暑さに強くなるという共通の課題に対して革新的な解決策を生み出している。ドレスデン市は、これらの関係者の意見を調整し、リビング・ラボを管理し、適応策の開発と実施を支援している。

この持続可能な都市開発への全体的なアプローチの成果のうち、いくつかはさまざまな関係者間の壁を打破し、気候変動への適応策の受け入れを高めることで、実施の障壁を軽減したということである。



ザクセン州の州都ドレスデン市環境局

ドレスデン



人口 (2018) :
554,649

面積 :
328.2 km²

首長誓約署名年 :
2016

CO₂排出削減目標 :
2005年と比較し
2030年までに41%減

専門家が地域の気温データを収集し、シミュレーションを行うなどの調査を行った。また、猛暑の影響を把握するためのアンケート調査などのツールを用いて住民の意見を収集し、解決策の選択肢の中から住民の好みを抽出した。ドレスデンは、科学者の専門性と住民の専門性を融合させることで、住民が感じているニーズに応えながら、福利を向上させるための効果的な解決策を実行する、包括的なプロセスを開発したのである。

このプロジェクトは、すでに決定された計画の上に追加されるのではなく、このプロセスが市の最終的な計画を決定するように、段階的に展開されている。

市民の感情

コンピュータによるシミュレーションと専門家による分析により、可能性のある対策が考えられた。そして、これらのアイデアをドレスデンのゴルビッツ地区の住民178人に持ち寄り、反応や意見を募った。回答者の60%以上が、夏の暑さを「非常にストレス」と感じていた。マイナスの影響としては、頭痛や不眠が挙げられている。75%は、屋外の日陰を増やすことが良い解決策になると考えている。大多数は、家の近くの通りに木を植えたり、緑化屋上に変えたりすることが有益であると考えている。

市民との協議の結果、日陰のある公共のベンチやバス停を作り、地域に木や灌木の植栽を増やすことを決定した。また、研究は窓から入ってくる熱や夜の空気の循環の悪さが住宅内の高温の原因になっていることも発見した。そのため、外窓のシャッターなどの遮熱対策や、既存の換気システムを拡張することが推奨されている。これらの対策は現在、3つの試験棟で住民と協力して試験的に実施されている。

行動も一役買っている。夜間に窓を開けたり、横風を起こしたりといった簡単な工夫の効果は、訓練を通じて住民に伝わっている。

また市は、公共の場では草刈りの頻度を減らして草を長く生やしたり、使われなくなったサッカー場のような屋根付きの場所を開放したりするなど、周囲の温度を下げるための簡単な取り組みも行っている。

重要
データ

178名の住人を調査済み

3つの建物に適応策を施行

ほぼ1ヘクタールの緑地帯へ
転換



プロジェクトの資金調達

- + 資金源：
ドイツ連邦教育研究省（BMBF）
- + 総額：
250万ユーロ

役立つリンク

▶ <http://heatresilientcity.de>



問合せ

プロジェクトの詳細の問合せ先: Regine Kramer,
European and International Affairs, Dresden
rkramer2@dresden.de